

(第12号)

2015年3月15日

# 民権連通信

民主主義と人権を守る府民連合（民権連）

〒556-0024 大阪市浪速区塩草 2-2-31

TEL (06) 6568-2031 fax (06) 6568-2047

## 「パワハラ」中原教育長辞職！（大阪府教育委員会）

3月11日、中原徹教育長はパワハラ問題についての厳しい府民世論を受けて辞職を表明し、教育委員会議は全員一致で同意、12日付で正式に退職しました。中原教育長の辞職を求めて、大教組や大阪労連、新婦人府本部、民主法律家協会などで作る教育文化府民会議は、辞職・罷免を求める要請署名を6000以上を集めました（写真は3月9日の宣伝行動）。



府内41市町村教育長も府教委に毅然とした対応を求めました。民権連は3月4日、「中原徹教育長のパワハラに嚴重抗議し、辞職を求める要請書」を提出しました。

2015年3月4日

大阪府知事 松井 一郎様

民主主義と人権を守る府民連合

執行委員長 谷口 正暁

中原教育長のパワハラに嚴重抗議し、辞職を求める要請書

大阪府教育委員会は2月20日、中原教育長のパワーハラスメント（パワハラ）問題について、「違法性を帯びたパワーハラスメント」と認定した第三者委員会の報告書を公表しました。

報告書が「教育委員としての品格に関わる不適切な言動」と厳しく指摘しているように、中原氏の言動は、重大な人権侵害といえるものです。大阪府教育委員会事務局のトップである教育長という立場での言動であるという事実は、大阪府の教育にとって深刻な衝撃を与えるものです。


民主主義と人権を守る府民連合は、一貫して民主主義と人権の確立を求めて運動をすすめてきました。府教育委員会は、府立学校はもとより市町村教育委員会に対しても「必要な指導、助言」を行う権限を有しており、その責任はまことに重大です。中原氏のパワハラは、発覚し調査が行われるまでくりかえし行われており、このような中原氏には大阪府の教育行政を委ねるわけにはいきません。

以上の点から、下記について強く求めます

記

1、中原氏は教育長をただちに辞職すること。

**訂正** 1月21日府教委交渉で府教育センター作成の「同和問題学習」教材で「事実誤認」と回答した箇所が以下のように訂正されました。

訂正後	訂正前
1965年にやっと政府も責任を認め、特別対策を始めました。なお、特別対策は2002年の「地域改善対策特定事業に係る国の特別措置に関する法律」の失効に伴い終了しています。	今から30年前にやっと政府も責任を認め、対策を始めました。 

**削除** 東大阪市の小学校のホームページで、このたび、「学校の沿革」から「同和教育の息吹き」の箇所（4ページ）が全文削除されました。問題の内容は、「30年代の本校は、同和地区を有する、教育困難校として」「同和地区を有する学校に対して同和教育主导者を配置」「同和教育推進校（同推校）」「本校の同和教育をより充実させるために取り組みを続けている」などと紹介し、子どもたちの写真も多く掲載され、学校のホームページで発信されていました。これは特別法終了の意味をわきまえず、「部落問題解決を妨げるもの」「載せるべきでない」と民権連や住民から撤回を求められていたものです。

**意識調査** 八尾市では平成26年11月～12月にかけて桂中学校区及び高美中学校区住民を対象にした「人権コミュニティセンターに関する住民意識調査」が実施されました。

調査目的は、「人権コミュニティセンターに関する意識について調査を実施し、今後のセンター事業のための資料として活用したい」としています。前回平成22年1月では「同和地区住民意識調査」を実施、「あなたは、自分を『同和地区出身者』であると思いますか。それとも、そうは思いませんか」「なぜ、『そうは思わない』のですか」などの設問が見られ、市民から『同和地区』の指定が無くなったのに、なぜ『同和地区』が今も存在するというのか」「『あなたは同和地区出身者か』と問うことは、差別につながり、プライバシーの侵害ではないか」と厳しい批判が巻き起こりました。今回の調査は前回とは趣きを変え、「今後のセンター事業のための資料として活用したい」となっています。しかし、この二つの施設だけが「人権コミュニティセンター」で、調査票にはわざわざ「市内の他のコミュニティセンターと異なり」と明記されています。なぜ他の「コミセンと異なるのか」、今もなお「特別扱い」の施設なのか、八尾市は市民からの疑問に答える責任があります。

### 鈴木 良さん（立命館大学元教授 日本近代史研究家）死去

部落問題研究所理事、国民融合全国会議代表などを歴任されてきた鈴木良さんは、2月16日、肺炎のため東大阪市内の病院で死去されました。鈴木良さんは、東大阪文化懇話会代表、どんぐり福祉会理事長を務めるなど地域の諸活動に尽力されました。また東大阪市の部落問題解決のために力を注いで下さいました。謹んで哀悼の意を捧げます。

